



CCS便り

NPO 法人 キャリア・カウンセラー札幌

会報 Vol .26

令和2年 10月 25日発行

〒060-0052 札幌市中央区南2条東6丁目 2-1
B-205

TEL. 011-596-6242

FAX. 011-596-6267

E-mail ccs2012@vega.ocn.ne.jp

URL <http://www.ccsap.jp>

コロナ禍の中での今年度の活動について

コロナによる影響で、イベントや集会が自粛される中、我々も春先からの活動を自粛してきました。今年度の活動の開始は、7月の相談会からであります。以降、8月の相談会、研修、9月の相談会、10月の講演会、相談会と全ての予定行事を実施してきました。コロナの対策に留意しながら、マスク着用や手指の消毒の徹底を図りながら、換気にも注意を払って実施を続けてきました。今後も、今までの注意事項や対策を怠ることなく続けて、予定の行事を円滑に進めていきたいと考えています。また、昨年度同様に札幌市の助成を受けることができたことは喜ばしい限りです。更に、年頭の誓いでもあった「スーパバイズ」を活動に導入することは8月の研修時に試みた受講者のロープレの「スーパバイズ」において曲がりなりにも実現できたと考えています。今後は、この方法をよりシステムティックに完成させるかを大きな課題として取り組みを強化してまいります。そして、日々の研鑽を怠ることなく活動し社会に貢献し続けていく所存です。

NPO法人キャリア・カウンセラー札幌

理事長

平澤 麦生

第12回講演会の内容について

「職業能力評価基準をキャリアコンサルティングに活用する」

10月18日（日）札幌市民交流プラザにて、NPO法人キャリア・カウンセラー札幌第12回講演会を開催いたしました。

今回の講師は、当法人の副理事長である浜松敏明が担当し、「職業能力評価基準をキャリアコンサルティングに活用する」の演題での講演が約2時間行われました。

最初に、キャリアコンサルタントを取りまく環境の変化についてが紹介されました。

その後、個人の職業能力の中核をなす「エンプロイアビリティ」と「コンピテンシー」について語られました。

特に、「成果を生み出す個人の能力構造」では、目に見える部分としての「専門性」や「思考特性・行動特性」の他に目に見えない部分としての「個人的属性」があり、これらが総合的に作用して「持ち味や成果の再現性」に繋がること。

これらの「持ち味や成果の再現性」を相手企業にしっかりアピールすることが就活成功の決め手になることが話されました。

後半部では、「職業能力評価基準」の全体像に話が進み、事務職を一例として、その全体像に続き一般職から経営層までのレベル1～4の要求される技能や知識について具体的に紹介されました。

今後のキャリア相談では、こうした「職業能力評価基準」を理解し活用することで具体的な進路指導に繋げることが必要であることがよく理解できる一日となりました。

受講者アンケートより。

- 就職支援の面談で活用する大きなヒントになりました。実際のカウンセリングでの有用な例などで紹介してもらえばよいと思います。
- 企業内でのキャリアカウンセリングがどのように行われどんな相談や成果があるのかを知りたいです。今後求職者の「持ち味」に視点をおくことや、求人を見て求められている能力についての視点を意識していきたいと思います。
- 職業能力評価基準について、ここまで詳しく具体的に見たことはありませんでした。自社の能力評価基準を理解する上で、大変に参考になります。職場全体で「共通の土俵」として共有できると、成果向上に繋がると感じました。ありがとうございました。



講演に熱心に聞き入る受講者の方々



浜松副理事長の講演の様子

編集後記

コロナによる社会の変化が、いたるところに表れつつある今日、我々も対策に留意しながら活動を推進する必要があります。今回の講演会は、コロナ対策に配慮し机の配置もゆったりとして換気にも十分に気を付けて実施しました。今後もコロナ対策に十分配慮し活動を続けてまいります。(T.H)